

第5学年 国語科学習指導案

日 時 平成28年9月29日(木)

公開1 13:20~14:05 公開2 14:20~15:05

児 童 1組 男16名 女15名 計31名

2組 男16名 女15名 計31名

指導者 戸來 守(公開1)

伊藤 志保(公開2)

1 単元名 椋鳩十の作品の魅力を伝え合おう(光村図書P.114)

2 教材名 「大造じいさんとガン」

3 単元について

(1) 教材について

本教材「大造じいさんとガン」は、ガンの頭領である残雪が仲間のために命がけで戦う姿、傷つきながらも敵から逃げない堂々とした姿と、その残雪と戦う大造じいさんの心情の変化が描かれている。人間と動物という関係を超越するような関わり合いを通じて、美しいもの、感動すべきものに素直に心を動かしている大造じいさんの人間味あふれる姿が、緊迫した雰囲気の中で生き生きと描写されている。児童は、大造じいさんの思いや行動に感心し、共感しながら物語を読み進めていこう。

また、情景描写によって、巧みな自然描写とともに登場人物の心情が想像できるよう効果的に表現されている。したがって、本教材は、登場人物の相互関係や心情の変化、優れた叙述について自分なりにとらえ、考えをまとめる力をつけるために適した教材であるといえる。

(2) 指導について

第5学年及び第6学年の「C読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」である。

本単元では、物語に描かれている「人物の心情の変化」、「情景描写」、「作品のテーマ」という3つの観点で読み取りを行う。それぞれの観点ごとに自分の考えも交えながら交流会用ワークシートを書きまとめる。この活動を進める上で、物語の内容を正確にとらえるだけでなく、物語の面白さや優れた叙述に着目する必要がある。そうすることで、「登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること「C読むこと(1)エ」ができる」と考える。

第一次では、「物語の魅力を伝え合う」という言語活動に対する意識を明確にもって単元の学習に臨めるようにする。「金色の足あと」の交流会用ワークシートを見本として提示し、学習の見通しをもつとともに、第二次で必要な読みの観点を確認する。また、椋鳩十の他の三作品(「片耳の大シカ」、「金色の川」、「月の輪グマ」)を紹介し、並行読書に取り組むことで、読書に親しむ態度を育てるとともに、同一作者の作品に共通する特色やテーマを味わうことができるよう

にする。

第二次では、「大造じいさんとガン」を、必要な読みの観点（「人物の心情の変化」、「情景描写」、「作品のテーマ」）に沿って内容を読み取っていく。本単元において初めて「情景描写」を学ぶが、心情を表す表現や行動だけでなく、「情景描写」からも登場人物の心情を想像することができると思わせたい。

第三次では、並行読書してきた椋鳩十作品の中から一作品を選び、「大造じいさんとガン」との共通点、相違点を見つける中で自分の考えをさらに深め、交流会用ワークシートを完成させる。交流会では、友達との共通点や相違点に着目させ、自分の書いたことに確信をもったり、自分では気付かなかった作品のよさに目を向けたりするきっかけとしたい。

(3) 研究との関わり

【書く活動を通して、自らの考えが明確になるような手立て】

- ・自力解決前に、読みの観点を与える。(見通しのもたせ方の工夫)
- ・方法、手順を提示し、提示された方法をヒントに、目的に応じた大事な言葉や文にサイドラインを引いたり、自分の考えをまとめたりすることができるようにする。(見通しのもたせ方の工夫)

【他者との交流を通して自らの考えを深められるような手立て】

- ・自力解決後に、ペアやグループで考えを交流させ、自分の考えを整理・確認し、自信をもって全体交流の場で発表したり、友達の考えのよさを自分の考えに取り入れたりすることができるようにする。(目的の明確化)
- ・交流会用ワークシートの完成後には、交流会を開き、友達との共通点・相違点を探す中で自分の考えをより広げたり深めたりすることができるようにする。(目的の明確化)

4 単元の目標

【国語への関心・意欲・態度】・自分が紹介しようと考えた理由を明らかにしながら、対象となる本を読み返したり、同じ作者の作品と比べて読んだりしながら、作品の魅力を推薦しようとする。

【読む能力】・作品の魅力を推薦するために、登場人物の行動や会話をもとにした心情の変化、情景描写などの優れた叙述に着目して、内面に描かれた心情を想像して読むことができる。

- ・本の紹介の文章を読み合い、感じたことや考えたことの共通点や相違点を明らかにし、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

【語についての知識・理解・技能】・心情を表す優れた叙述や情景描写の効果に気付くことができる。

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
自分が紹介しようと考えた理由を明らかにしながら、対象となる本を読み返したり、同じ作者の作品と比べて読んだりしながら、作品の魅力を推薦しようとしている。	作品の魅力を推薦するために、登場人物の行動や会話、情景描写を関連付けて、内面に描かれた心情や作品のテーマをとらえて自分の考えをまとめている。(1)エ 友達と作品の魅力を推薦し合う中で、心情の変化、優れた情景描写、作品のテーマに対する考え方の違いが分かり、自分の考えを広げたり深めたりしている。(1)オ	心情を表す優れた叙述や情景描写の効果に気付いている。 (1)イ(カ)

6 単元を通じた言語活動

言語活動	椋鳩十の作品の魅力を推薦し合う交流会
目的	作品の魅力を膨らませるために、互いのとらえたよさを交流する。
相手	学級の友達
様式	交流会用ワークシート（「心情の変化」、「優れた表現」、「作品のテーマ」について書きまとめるためのもの）

7 単元指導計画（9時間）

小単元	時	目標	学習活動	指導・支援	具体的評価規準
第一次	1	教材と出会い、単元の見通しをもつことができる。	<p>学習の見通しをもとう。</p> <p>①単元のねらいを知り、作品の魅力を推薦し合う交流会を開くという見通しをもつ。 ②交流会用ワークシートの内容を知る。</p>	<p>・指導者が『金色の足あと』（椋鳩十）の交流会用ワークシートを提示し、単元の見通しをもたせる。 ・交流会用ワークシートに書く内容を全員で確認する。</p> <p>① 登場人物の心情の変化 ② 優れた表現（情景描写） ③ 作品のテーマ</p>	<p>園交流会用ワークシートに書く内容を進んで考え、学習の見通しをもとうとしている。（発表）</p>
第二次	2・3	物語の全文を読み、物語の大体を知ることができる。	<p>物語の流れをとらえよう。</p> <p>①「大造じいさんとガン」を読み、「時」、「出来事」、「大造じいさんの行動」、「残雪の行動や様子」の観点に分け、ワークシートに物語の流れを書きまとめている。</p>	<p>・「時」、「出来事」、「大造じいさんの行動」、「残雪の行動や様子」の観点に分けて整理して書けるようなワークシートを用意する。</p>	<p>読物語の概観をとらえ、「時」、「出来事」、「大造じいさんの行動」、「残雪の行動や様子」の観点に沿ってワークシートにまとめている。 (1) エ (ワークシート)</p>
	4 公開1	大造じいさんが仕掛けた作戦から大造じいさんの心情を読み取ることができる。	<p>残雪と戦う大造じいさんの心情の変化を読み取ろう。</p> <p>①大造じいさんと残雪の戦いについて内容を読み取る。 ②大造じいさんの心情の高まりをとらえ、ノートに書きまとめる。</p>	<p>・「つりばり作戦」、「タニシ作戦」、「おとり作戦」の概要を押さえ、諦めない大造じいさんの狩人としての執念を読み取らせる。 ・それぞれの作戦を通して高まる大造じいさんの心情に気付かせる。</p>	<p>読作戦を重ねるごとに残雪への思いが高まっていく大造じいさんの心情を読み取っている。 (1) エ (ノート・発表)</p>
	5	残雪の行動や態度によって変化した大造じいさんの心情を読み取り、それに対する自分の考えをまとめること	<p>大造じいさんの残雪に対する見方が大きく変わったのはなぜだろう。</p> <p>①大造じいさんの心情を変化させた残雪の行動や態度を探す。 ②大造じいさんの心情の変化を読み取</p>	<p>・前時までの大造じいさんの心情を振り返ることや、作戦の内容を確認することで、大造じいさんが並々ならぬ覚悟で残雪との戦いに臨もうとしていることを想像させる。</p>	<p>読大造じいさんの心情の変化を読み取り、自分の考えをまとめている。 (1) エ (ノート・発表)</p>

		とができる。	り、自分の考えを書きまとめる。	・残雪のハヤブサと勇敢に戦う姿や誇り高い態度に接した大造じいさんの心情を想像させる。			
6 公開 2	情景描写から登場人物の心情を想像し、情景描写の表現効果に気付くことができる。	情景描写から心情が分かるひみつを探ろう。		<ul style="list-style-type: none"> ・情景描写の文を一つ提示し、登場人物の心情を読み取る。 ・他の情景描写からも、登場人物の心情を想像して交流する。 ・情景描写に着目しながら椋鳩十の他の作品を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「東の空が真っ赤に燃えて～」の文を提示し、前時までに読んできた大造じいさんの行動や会話と結びつけながら、どのような心情が分かるか考えさせる。 ・椋鳩十の他の作品も情景描写に着目しながら読ませ、情景描写に着目しながら物語を読むことの有用性を実感させる。 	<p>読情景描写の文と、登場人物の行動や会話の叙述とを関係付けながら、登場人物の心情を想像し、情景描写の効果に気付いている。</p> <p>(1) エ (ノート・発表)</p>	
7	残雪を見送る大造じいさんの心情を読み取り、作品のテーマをまとめることができる。	作品のテーマをまとめよう。		<ul style="list-style-type: none"> ・残雪を見送る大造じいさんの心情を読み取る。 ・これまでに読み取ってきたことを振り返り、作品のテーマをとらえ、書きまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までに読み取ってきた大造じいさんと残雪の関係に加え、晴れた日を選んで残雪と別れたことや、大造じいさんの残雪への最後の呼びかけ、情景描写から、大造じいさんの心情を想像させ、作品のテーマへとつなげる。 	<p>読大造じいさんの残雪に対する心情の変化を振り返り、作品のテーマについて読み取っている。</p> <p>(1) エ (ノート・発表)</p>	
第三 次	8	『大造じいさんとガン』と補助教材を比べ読み、交流会用ワークシートを完成することができる。	交流会用ワークシートを完成させよう。		<ul style="list-style-type: none"> ・補助教材「片耳の大シカ」、「金色の川」、「月の輪グマ」の中からあらかじめ選んでおき、第二次で読んできた観点についてワークシートに書き加える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・①登場人物の心情の変化 ②優れた表現（情景描写） ③作品のテーマの3つについてワークシートに書き加えていくことを確認する。 ・「大造じいさんとガン」との共通点と相違点を考えながら、読ませるようにする。 	<p>読補助教材を「大造じいさんとガン」と比べながら「人物の心情の変化」、「情景描写」、「作品のテーマ」について読み取っている。</p> <p>(1) エ (交流会用ワークシート)</p>
	9	交流会を開き、互いの考えから共通点や相違点を見つけ、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	作品の魅力を伝え合う交流会をしよう。		<ul style="list-style-type: none"> ・グループの中で交流会をする。 ・交流を通して、新しく気が付いたことや、友達の考えから学んだことなどをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ交流の中での意見の練り合いや深まりを、全体の場でも共有し、一人一人の考えをさらに広め深めることができるようにする。 	<p>読友達と交流する中で、自分の読みとの共通点や相違点に気付いている。</p> <p>(1) オ (交流会用ワークシート・発表)</p>

8 本時の指導（4／9時間目）

（1）児童について

これまでに児童は、文学的文章「なまえつけてよ」（蜂飼耳）で、人物像と、人物同士の関わり
に気を付けて読んできた。描かれた登場人物同士の関係について、自分自身のことを思い起こ
しながら感想をまとめて交流し、読みを深めた。その際、物語から読み取ったことと、それに対
する自分自身の感想を明確に分けて書くように取り組んだ。「千年の釘にいどむ」（内藤誠吾）で
は、人物の行動や考え方を読む学習を行った。人物の行動や考え方について自分と照らし合わ
せ、共通点や相違点を明らかにし、共感する点や見習いたい点を中心にポップにまとめ、交流す
る活動に取り組んだ。

これらの学習を通して、自分の考えをもったり、友達と考えを交流したりすることに意欲的に
取り組む児童が増えてきた。積極的に交流する児童もいるが、自分の意見を発表できず指示を待
っている児童もいる。また、進んで取り組むことが難しく、支援を必要とする児童も少なくない。

本単元で扱う教材「大造じいさんとガン」（椋鳩十）では、登場人物の相互関係や心情の変化、
作品のテーマについて、登場人物の行動や会話、情景描写などから読み取り、自分の考えを広げたり
深めたりし、物語の魅力をお互いに伝え合えるようにしたい。

（2）目標

大造じいさんが仕掛けた作戦から、大造じいさんの心情を読み取ることができる。

（3）評価規準

評価規準	概ね満足	支援を要する児童への手立て
読 作戦を重ねるごとに残雪 への思いが高まっていく大 造じいさんの心情を読み取 っている。 (1) エ (ノート・発表)	読 作戦を実行しようとする大 造じいさんの会話や行動など の描写を関連付けて、大造じ いさんの残雪に対する思いの 高まりを心情曲線に表してい る。	・ 作戦を考えたり、実行しようとした りする大造じいさんの会話や行動を 見つけさせ、大造じいさんの心情を 考えさせる。

（4）研究との関わり

〔書く活動を通して、自らの考えが明確になるような手立て〕

- ・ 三つの作戦の概要を押さえ、大造じいさんの気持ちが表れているところを全員で確認する。

（見通しのもたせ方）

〔他者との交流を通し、自らの考えを深められるような手立て〕

- ・ リーダーを中心にして「話し合いの進め方」シートを使って話し合いをする。（話し合いの仕方の工夫）
- ・ グループで交流し合うことで、共通点や相違点に着目させ、自分の考えに確信をもったり、自分
では気付かなかった考えに目を向けさせたりする。（目的の明確化）

(5) 展開

段階	学習内容と活動	教師の働きかけと評価
導入 5分	<p>1 大造じいさんが考えた作戦を確認する。</p> <p>2 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>残雪と戦う大造じいさんの心情の変化を読み取ろう。</p> </div>	<p>・「つりばり作戦」「タニシ作戦」「おとり作戦」の概要を押さえる。</p>
展開 35分	<p>3 学習の見通しをもつ。 三つの作戦の中で大造じいさんの心情が変化していく言葉にサイドラインを引く。</p> <p>4 学習課題を解決する。</p> <p>(1) 自力解決をする。 心情の高まりを心情曲線で表し、その理由やきっかけとなった言葉を考える。</p> <p>(2) グループ学習をする。 書きまとめたことを交流する。</p> <p>(3) 全体で確認する。</p> <p>(4) 大造じいさんの心情をまとめる。</p>	<p>◎三つの作戦の概要を押さえ、大造じいさんの気持ちが表れているところを全員で確認する。(見通しのもたせ方)</p> <p>・諦めない大造じいさんの、狩人としての執念を読み取ることができる場所を見つけさせる。</p> <p>・心情曲線を引き、その理由やきっかけとなった言葉を考える。</p> <p>◎リーダーを中心にして「話し合いの進め方」シートを使って話し合いをする。(話し合いの仕方の工夫)</p> <p>◎共通点や相違点に着目しながら交流をする。 (目的の明確化)</p> <p>(共) 敵対心が強まっていく。戦闘開始だ。残雪をやっつけてやる。</p> <p>(相) 大造じいさんに余裕がある。</p> <p>・友達との共通点や相違点に気を付けて聴き、友達のまとめ方や考え方のよさに気付くことができるようにする。</p> <p>・交流を通して、大造じいさんの心情が高まっていたことをまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〔評価〕 作戦を実行しようとする大造じいさんの心情語や会話文を見つけ、そこから大造じいさんの心情曲線を書きまとめている。(ノート)</p> </div>

終 末 5 分	5 学習の振り返りをする。	・振り返りを発表し、身に付いた力を確認する。
	6 次時の学習内容について知る。	・次時は、大造じいさんが残雪の見方が変わった場面について考えていくことを伝える。

(6) 板書計画

<div data-bbox="523 465 603 645" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">おとり作戦</div> <ul style="list-style-type: none"> ・うまくいくぞ ・「戦闘開始だ」 ・ひとあわふかせてやるぞ 	<div data-bbox="767 465 847 645" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">タニシ作戦</div> <ul style="list-style-type: none"> ・会心のえみ ・しめたぞ。目にも物を見せてくれるぞ ・「ううん」うなってしまう 	<div data-bbox="959 465 1038 645" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">つりばり作戦</div> <ul style="list-style-type: none"> ・なんだかうまくいきそう ・「ううむ」感嘆の声 	<div data-bbox="1217 465 1297 1137" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="text-align: center;">大造じいさんとガン</p> <p style="text-align: center;">残雪と戦う大造じいさんの心情を読み取ろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・大造じいさんの心情曲線をかいてみよう。
---	---	--	---

8 本時の指導（6／9時間目）

（1）児童について

これまでに児童は、文学的文章「なまえつけてよ」（蜂飼耳）で、人物像と、人物同士の関わりに関心を付けて読んできた。描かれた登場人物同士の関係について、自分自身のことを思い起こしながら感想をまとめて交流し、読みを深めた。その際、物語から読み取ったことと、それに対する自分自身の感想を明確に分けて書くように取り組んだ。『千年の釘にいどむ』（内藤誠吾）では、人物の行動や考え方を読む学習を行った。人物の行動や考え方について自分と照らし合わせ、共通点や相違点を明らかにし、共感する点や見習いたい点を中心にポップにまとめ、交流する活動に取り組んだ。

これらの学習を通して、自分の考えをもったり、友達と考えを交流したりすることに意欲的に取り組む児童が増えてきた一方で、苦手意識をもち、進んで取り組むことが難しく、教師の支援を必要とする児童も少なくない。また、想像を膨らませるあまり、叙述から離れてしまう児童もいる。

本単元で扱う教材『大造じいさんとガン』（椋鳩十）では、登場人物の相互関係や心情の変化、作品のテーマについて、登場人物の行動や会話、情景描写などから読み取り、自分の考えを広げたり深めたりし、物語の魅力をお互いに伝え合えるようにしたい。

（2）目標

情景描写から登場人物の心情を想像し、情景描写の表現効果に気付くことができる。

（3）評価規準

評価規準	概ね満足	支援を要する児童への手立て
読情景描写から、登場人物の心情を想像し、情景描写の表現効果に気付いている。（ノート、発表）	読情景描写の文と、その前後にある登場人物の行動や会話などの叙述とを関係付けながら、登場人物の心情を想像し、情景描写の効果に気付いている。	・登場人物の心情が最も表れていると思う情景描写を選ばせ、その情景描写に合う行動や会話の叙述が近くにないか探させる。

（4）研究との関わり

【書く活動を通して、自らの考えが明確になるような手立て】

- ・情景描写が大造じいさんの心情とどのように結びついているか一人一人が考えをもつことができるように、自力解決前に例文を取り上げて全員で考える場を設ける。

（見通しのもたせ方の工夫）

【他者との交流を通し、自らの考えを深められるような手立て】

- ・自力解決だけでは気付かなかった考えを取り入れ、自分の考えを広めたり深めたりするために、自力解決後に、ペア学習を入れたり、全体交流の時間を十分に保障したりする。

（目的の明確化）

(5) 展開

段階	学習内容と活動	教師の働きかけと評価
導入 7分	<p>1 前時までの学習を想起する。</p> <p>2 本時の課題を確認する。</p> <div data-bbox="228 517 647 640" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>景色を表す文から心情が分かるひみつを探ろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 前時までに、大造じいさんの行動や会話、ガンとの関係を根拠に大造じいさんの心情について読んできたことを想起させる。 「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。」を取り上げ、「真っ赤に燃えて」の部分が「赤く燃えて」でも文章として成立するが、なぜ「真っ赤に燃えて」なのかについて考えを話し合う中で、大造じいさんの心情が読めそうだとことを確認し、課題へつなげる。
展開 33分	<p>3 学習の見通しをもつ。 情景描写の文から、大造じいさんの心情を行動や会話と結びつけながら考える。</p> <p>4 学習課題を解決する。 (1) 自力解決をする。 他の情景描写からも、どんな心情が表れているのかを考える。 (2) ペア学習をする。 (3) 全体で学び合う。 (4) 情景描写の効果について全体で確認をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。」の、「真っ赤に燃えて」が、「さあ、いよいよ戦闘開始だ。」「冷え冷えするじゅうしんをぎゅつとにぎりしめました。」など、大造じいさんの行動や会話と結びつき、「今日こそ絶対勝ちたい」、「負けるものか」という思いを強調していることを確認する。 ◎情景描写が大造じいさんの心情とどのように結びついているか一人一人が考えをもつことができるように、自力解決前に例文を取り上げて全員で考える場を設ける。(見通しのもたせ方の工夫) 「秋の日は美しくかがやいていました。」「あかつきの光が、小屋の中にすがすがしく流れこんできました。」「青くすんだ空を」、「美しい朝の空を」から一つ選び、前後の行動や会話の叙述を根拠にしながら、大造じいさんの心情について考える。 ◎自力解決だけでは気付かなかった考えを取り入れ、自分の考えを広めたり深めたりするために、自力解決後に、ペア学習を入れたり、全体交流の時間を十分に保障したりする。(目的の明確化) 登場人物の心情と響き合った風景や場面の様子を「情景びょう写」と呼ぶことを全体で確認する。 <div data-bbox="678 1709 1449 1973" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>[評価]</p> <p>情景描写の文と、その前後にある登場人物の行動や会話などの叙述とを関係付けながら、登場人物の心情を想像し、情景描写の効果に気付いている。</p> <p style="text-align: right;">(ノート、発表)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 数名に指名をして発表させ、友達との共通点や相違点に気を付けて聴き、友達のまとめ方や考え方のよさに気付

	5 並行読書している作品からも情景描写の文がないか探して読む。	くことができるようにする。 ・他の椋鳩十作品にも情景描写が多く使われており，そこからも登場人物の心情が読み取れることを確認し，情景描写に着目することで物語をより味わえることを実感させる。
終末5分	6 学習の振り返りをする。 7 次時の学習内容について知る。	・振り返りを発表し，身に付いた力を確認する。 ・次時は，作品のテーマについて考えていくことを伝える。

(6) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">情景びょう写</p> <p>登場人物の心情が表れている風景や場面の様子。会話や行動と結びつけることで，登場人物の心情をより深く味わうことができる。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: right;">大造じいさんとガン 椋 鳩十</p> <p style="text-align: center;">景色を表す文から心情が分かるひみつを探ろう。</p> <p style="text-align: center;">絶対に勝つ 闘志</p> <p style="text-align: center;">東の空が真っ赤に燃えて，朝が来ました。</p> <p style="text-align: center;">次もうまくいきそうだ。自信満々。</p> <p style="text-align: center;">秋の日は，美しくかがやいていました。</p> <p style="text-align: center;">やる気 希望 自信があふれる気持ち</p> <p style="text-align: center;">あかつきの光が，小屋の中にすがすがしく流れこんできました。</p> <p style="text-align: center;">冷静な大造じいさん 落ち着いている 期待</p> <p style="text-align: center;">青くすんだ空を，</p> <p style="text-align: center;">期待 自信 期待 早くつかまえたい</p> <p style="text-align: center;">美しい朝の空を</p> </div>
---	---